

一般会計の主要な事業

※新：新規事業、拡：拡大事業

●健康・福祉・医療分野

自立支援給付事業	6億6,180万円
老人保護措置費	1億1,681万円
施設型給付事業	8億2,743万円
病院事業会計助成事業	5億5,576万円
子ども医療費助成事業	1億3,629万円
予防接種事業	7,093万円

●産業・経済分野

飼料用米等生産拡大支援事業	4,992万円
農業次世代人材投資事業	1,500万円
商工業活性化支援事業	1,357万円
制度資金利子補給事業	1,250万円
拡飯高檜林等観光ガイド事業	335万円
空き店舗活用支援事業	362万円

●生活環境・都市建設分野

拡地域交通利用料助成事業	1,021万円
住宅用太陽光発電システム設置助成事業	255万円

道路新設改良費 3億2,839万円

※市道11137号線(野手)道路改良事業(6,384万円)含む

新橋りょう新設改良事業	4,000万円
空家等対策費	150万円
消防施設整備事業	8,104万円

●教育・交流分野

補助教員配置事業	5,041万円
拡外国語活動推進事業	619万円
新校務支援システム活用事業(小・中学校)	609万円

施設維持管理費(図書館)	1億353万円
--------------	---------

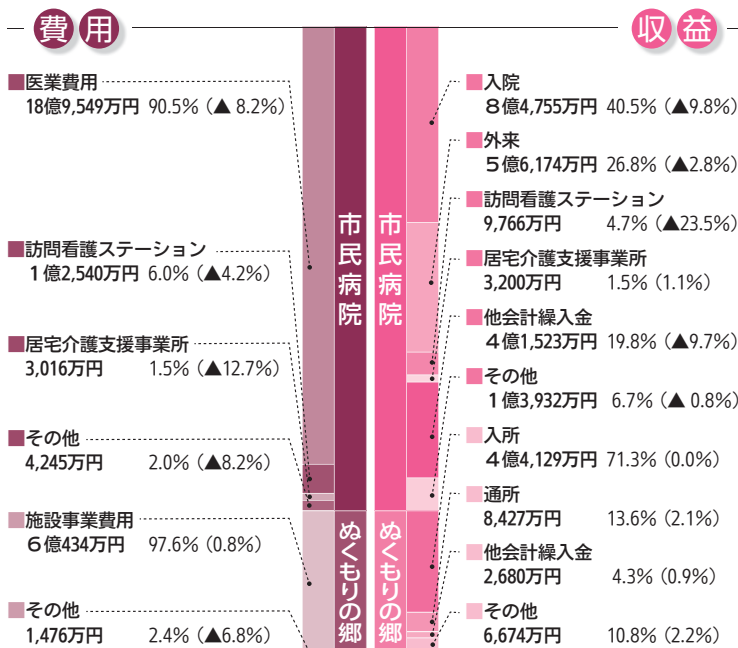
●住民協働・行財政分野

出会い創出事業	139万円
転入者マイホーム取得奨励金交付事業	1,462万円
定住促進空き家バンク事業	28万円
ふるさと納税推進事業	1,360万円
新第2次匠瑤市総合計画策定事業	670万円
市民協働推進事業	180万円

康保険事業は前年度比で26・7%の減、後期高齢者医療事業は同3・8%の増、介護保険事業は同2・9%の増です。

また、病院事業会計の収益的支出は同6・2%減、資本的支出は11・4%減となっています。

■収益的収支(病院の経営活動に伴い発生する収益とそれに対応する費用)



※1万円以下は四捨五入。()は前年度比の増減率です。

病院事業会計予算 経営健全化へ全力

平成30年度の病院事業会計予算は、病院事業と介護老人保健施設事業(そうさぬくもりの郷)を合わせ、総額27億1260万円(前年度比6・2%減)となりました。

他会計から出資金を含めて5億円以上の繰り入れをして、病院自らが経

管健全化に取り組む他、市全体で経営健全化に全力で取り組みます。

患者数の見込み

病院事業では、入院患者数は約2万5000人、外来患者数は約7万6000人を、また介護老人保健施設事業で

は、入所者数は約3万4000人、通所者数は約8000人をそれぞれ見込みました。

■収益的収支

収益的収支は、病院の経営活動に伴って発生する収益と費用です。

収益は入院・外来収益や一般会計からの繰入金など、費用は職員給与費、診療に必要な材料費、経費、建物や医療機器などの減価償却費などの他、医師確保費用としての医師奨学金などです。

収支それぞれに、病院事業では20億9350万円(前年度比8・0%減)、介護老人保健施設事業では6億1910万円(同0・6%増)を計上しました(＝上表)。

■資本的収支

資本的収支は、収入としては企業債や一般会計からの出資金1億1929万円があり、支出としては医療機器などの購入や企業債の償還金があります。

収入は1億5479万円(同18・1%増)、支出は1億5727万円(同11・4%減)を計上し、収入の不足額248万円は過年度分損益勘定留保資金で補填します。

※一般会計および特別会計(病院事業会計除く)についての問い合わせは財政課財政班☎73-0085へ、病院事業会計についての問い合わせは市民病院☎72-1525へ

在宅医療・介護をテーマに意見交換 共興地区座談会

在宅医療・介護サービスに関して意見交換などを行う「共興地区座談会」が2月24日、野栄総合支所で開かれました。

これは、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられることを目指して地域全体で支援する「地域包括ケアシステム」の構築に向け、モデル地区となっている同地区を対象に実施されたもので、住民約130人が参加。制度やサービスの紹介に続けて行われた意見交換では、サービス提供事業所のスタッフを交えて参加者らが10人程度のグループになり、介護に関する疑問や悩み、当日の感想などを熱心に話し合っていました。



グループ内で熱心に意見交換をする参加者ら



展示作品を前に笑顔を見せる美術部員たち

迫力の作品がずらり

匝瑳高校美術部展

匝瑳高校美術部の作品展「放課後」が、3月15日～24日の間、八日市場公民館で開かれ、連日多くの人々が来場しました。

卒業生と在校生が制作した油絵や立体作品など約220点が展示され、同部顧問の伊藤学史教諭によると高校美術部単独で開催する展覧会としては県内最大規模とのこと。油絵では、畳よりも大きな100号サイズのものや、学校生活などを明るく描いた作品が並び、来場者は力作の数々に見入っていました。部長の五十嵐叶恵さんは「何回も訪れてじっくりと見てくれる人もいて、とてもうれしいです」と話していました。

文化活動の成果を披露

第7回生涯学習祭

野栄総合支所で2月25日、文化活動を行う団体や個人が日ごろの成果を披露する第7回生涯学習祭が開かれました。

展示と芸能の両部門で発表が行われ、書道や水墨画などの作品が並んだ展示部門では、和紙人形制作体験や茶会コーナーも設置。また、芸能部門では民謡や舞踊、ダンスなど約50演目が披露され、観客席からたくさんの拍手が送られていました。



民謡を披露した最年少発表者の平野夢愛さん

ふれあいパーク 16周年を祝福



きらびやかな衣装とリズム感あふれるダンスで会場を盛り上げた

ふれあいパーク八日市場で3月11日、平成14年のオープンから16周年を祝うイベントが行われ、多くの人々が訪れました。イベントを盛り上げる民謡の発表やピアダンスの披露、ふじのみささんによる歌謡ショーが特設ステージで行われた他、買い物客向けの特典も実施され、大きな賑わいを見せました。

シバザクラ 見頃はもうすぐ

木積の森川さくさん宅で、シバザクラが見頃を迎えようとしています。4年ほど前に数株を植えたものが今では庭一面に広がるほどに育ったということで、森川さんは「今年は4月上旬が見頃になりそうです。ぜひ立ち寄って見ていってください」と話していました。

場所は、市内循環バス「木積」停留所から徒歩約1分。問い合わせは森川さん（☎090-4172-3358）まで。



シバザクラを紹介する森川さん。下写真は昨年4月撮影のもの（森川さん提供）

